

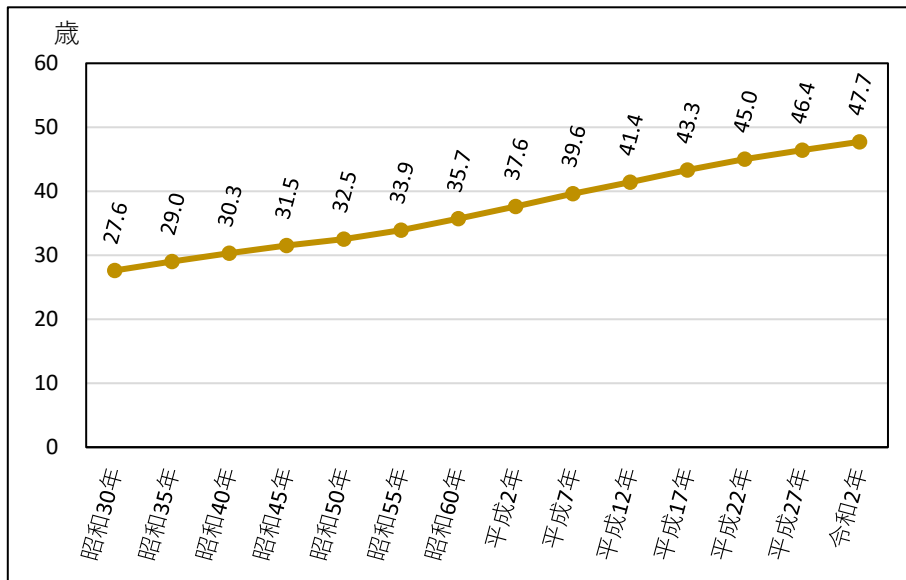
2.【平均年齢】 その高低差は地域の活力の相違に影響するか

国や地域の活力は「若さ」に裏打ちされる部分が大いのではないのでしょうか。人の年齢構成を示す指標はいくつかありますが、端的に「平均年齢」が一番わかりやすい指標かと思われます。

5年毎の国勢調査では全ての人のその時点での「年齢」が把握され、その平均値である「平均年齢」が算出されています。全国の令和2年の平均年齢は47.7歳です。5年前の平成27年調査では46.4歳なので5年で1歳以上の上昇、じわじわと高齢化が進んでいることがここでもわかります。昭和30年の平均年齢は27.6歳でしたので、その上昇ぶりに愕然とさせられます。日本の「若さ」が急速に減退しているということです。

因みに、この数値は男女の合計であり、女性の方が男性より平均年齢が2～3歳程度高いのですが、これは女性の方が平均寿命が長いことによるものでしょう。

全国の平均年齢の推移



資料：国勢調査

さて、この「平均年齢」を地域ごとに把握することで、各地域の「若さ」を比較することができます。ただ、気をつけなければいけないのは、例えば20歳の人と30歳の人の平均は25歳ですが、0歳児と50歳の人の平均も25歳ということで、平均年齢が30歳だからといって必ずしも30代の人割合が多いとは限らないということです。そういう限界もありますが、まずは令和2（2020）年国勢調査により、都道府県や市区町村別の平均年齢を比較してみましょう（外国人を含む総数の人口による）。

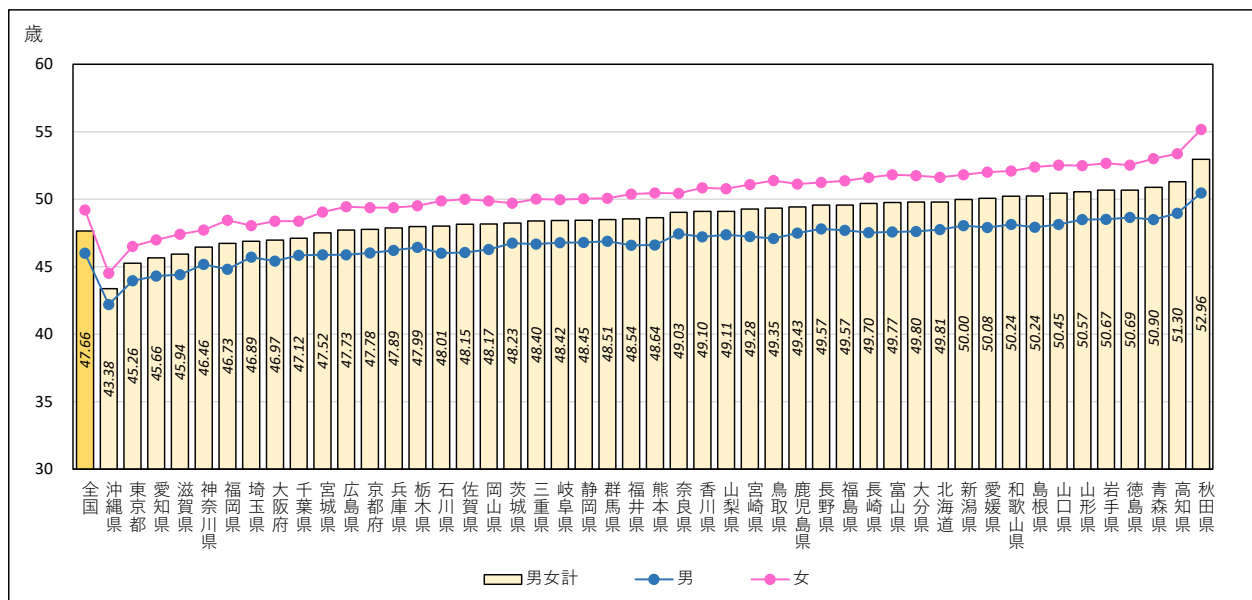
平均年齢は最も低い沖縄県と最も高い秋田県で10歳近い差

まず、都道府県別に平均年齢を比較すると、平均年齢が最も若いのは沖縄県の43.4歳で、2位の東京都（45.3歳）と2歳近い差をつけて「若さ」が際立っています。これは同県の出生率の高さなどが影響していると見られます。3位以降は、愛知県、滋賀県、神奈川県、福岡県、埼玉県、大阪府、千葉県、宮城県と続き、ここまでの10都県が全国平均の平均年齢より若いところです。

残る 37 道府県は全て全国平均よりも高い値ですが、最も高いのは秋田県の 53.0 歳で、2 番目に高い高知県（51.3 歳）とも 1.7 歳の差があり、最も若い沖縄県とは 10 歳近い差となっています。秋田県は若年層の県外流出が特に激しく、高齢化率（65 歳以上高齢者人口の割合）も全国一位です。

このように、都道府県別の比較だけでも平均年齢は大きな幅があることがわかります。

都道府県別の平均年齢



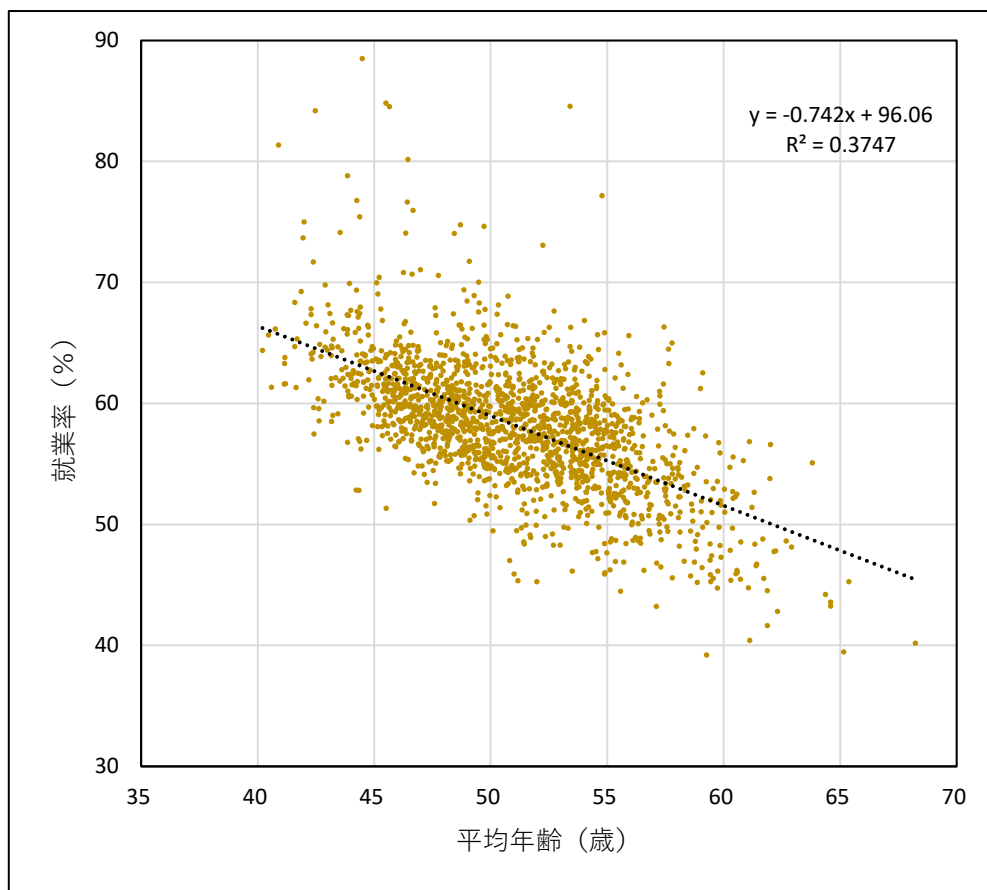
資料：令和 2（2020）年国勢調査

平均年齢の相違は地域の活力の大小に微妙に影響する

平均年齢の大小は、地域活力にどう影響を与えるのでしょうか。地域の「活力」は様々な側面から捉えられますが、ここでは同じ国勢調査による「就業率」で代表させてみましょう。就業率は、15 歳以上人口に占める「就業者」の割合で、就業者とは、労働力人口のうち収入を伴う仕事を少しでもしている人（自家営業の手伝いも含む）で、平均年齢が高いと高齢者の比重が増え、就業率が下がると予想されます。

都道府県別のデータではそれほど顕著な傾向は見られないのですが、市区町村別のデータによると下図のように緩やかな相関が見られ、平均的には、平均年齢が 5 歳上がると就業率が約 3.7%低下すると見ることができます。

市区町村別データによる平均年齢と就業率の関係（市区町村）（令和2年国勢調査）



☞平均年齢が特に若いのは大都市近郊の市町だが、その将来はいかに？

では次に、市区町村別に平均年齢を順位づけし、その上位と下位の市区町村を、就業率とともに次の表に示しましょう。なお、ここでの「区」は東京特別区を指し、政令指定都市はひとつの「市」として扱います。令和2年の市区町村数は1,741（北方領土の6村を除く）ですが、福島県双葉郡の8町村は東日本大震災・原子力発電所事故の影響で特殊事情にあることから対象から除いており、比較対象は1,733市区町村となります。また、全市区町村での順位とともに、市及び東京特別区のみ絞った中での順位も併せて示します。

併せて、平均年齢が若い順で上位の市区町村の位置をマップで示しますが、平均年齢の「若さ」の上位には、東京の都心3区のほか、東京、名古屋、大阪、福岡などの大都市近郊の市町が多いことがわかります。大都市部で働く若い人たちがマイホームを求めて移り住んで来るようなところと言えるでしょう。若いファミリー層が子どもを連れて転入すれば平均年齢はさらに若くなります。1位の福岡県新宮町は、福岡市の東隣の町で、2010年以降に人口が急増したところです。人口の4割以上が福岡市への通勤通学者とのことで、典型的なベッドタウンと言えます。愛知県長久手市も名古屋市に隣接し、人口が急増しているところです。

逆に、平均年齢が特に高いのは、大都市域から遠い山間部等の町村や旧産炭地域などが目立ち、これは、高齢化率が特に高いところと符合します。

平均年齢が若い方の上位市町村は就業率がいずれも6割台以上で、逆に高い方の市町村は4割台のところが多くを占め、「活力」の差が歴然とも言えますが、ベッドタウン的なところは、就業率が高いといってもその従業の場は通勤先の大都市であるケースが多いことに注意が必要です。

市区町村別の平均年齢の上位・下位（若い順）（令和2年国勢調査）

全市区町村での順位

「市」及び「区」（東京特別区）に絞った中での順位

順位	(県)	市町村名	平均年齢(歳)			就業率 (%)	順位	全体順位	(県)	市区名	平均年齢(歳)			就業率 (%)	
			男女計	男	女						男女計	男	女		
上位	1	福岡	新宮町	40.20	39.12	41.20	64.38	1	2	愛知	長久手市	40.46	39.66	41.21	65.65
	2	愛知	長久手市	40.46	39.66	41.21	65.65	2	7	沖縄	豊見城市	41.14	39.96	42.26	63.30
	3	沖縄	南風原町	40.59	39.76	41.38	61.35	3	10	滋賀	栗東市	41.58	40.59	42.55	64.71
	4	福岡	粕屋町	40.75	39.73	41.74	66.16	4	11	埼玉	戸田市	41.59	41.00	42.19	68.37
	5	東京	御蔵島村	40.89	41.00	40.75	81.37	5	12	沖縄	宜野湾市	41.64	40.33	42.86	61.31
	6	沖縄	与那原町	41.13	39.93	42.26	61.60	6	13	石川	野々市市	41.68	39.50	43.97	65.34
	7	沖縄	豊見城市	41.14	39.96	42.26	63.30	7	14	埼玉	和光市	41.85	41.05	42.70	69.26
	8	三重	朝日町	41.15	40.23	42.07	63.81	8	15	東京	千代田区	41.94	40.84	43.05	73.69
	9	沖縄	中城村	41.19	40.21	42.15	61.65	9	16	東京	中央区	41.98	41.08	42.80	75.00
	10	滋賀	栗東市	41.58	40.59	42.55	64.71	10	17	千葉	浦安市	42.06	41.66	42.43	66.65
	11	埼玉	戸田市	41.59	41.00	42.19	68.37	11	18	沖縄	浦添市	42.19	40.93	43.37	61.95
	12	沖縄	宜野湾市	41.64	40.33	42.86	61.31	12	20	愛知	高浜市	42.28	41.11	43.53	67.35
	13	石川	野々市市	41.68	39.50	43.97	65.34	13	21	愛知	みよし市	42.29	41.74	42.88	64.11
	14	埼玉	和光市	41.85	41.05	42.70	69.26	14	23	茨城	つくば市	42.36	41.21	43.52	64.24
	15	東京	千代田区	41.94	40.84	43.05	73.69	15	25	沖縄	沖繩市	42.39	41.00	43.69	59.66
	16	東京	中央区	41.98	41.08	42.80	75.00	16	30	沖縄	糸満市	42.61	41.84	43.40	59.58
	17	千葉	浦安市	42.06	41.66	42.43	66.65	17	33	岐阜	瑞穂市	42.71	41.50	43.91	63.89
	18	沖縄	浦添市	42.19	40.93	43.37	61.95	18	34	沖縄	名護市	42.83	41.84	43.81	60.19
	19	三重	川越町	42.28	40.93	43.72	67.85	19	35	東京	港区	42.89	41.55	44.08	69.79
	20	愛知	高浜市	42.28	41.11	43.53	67.35	20	37	愛知	刈谷市	42.91	41.74	44.18	65.93
・							・								
下位	1714	徳島	牟岐町	61.38	58.47	63.89	46.61	796	1512	愛媛	西予市	55.82	53.24	58.11	54.97
	1715	三重	南伊勢町	61.41	59.07	63.43	46.72	797	1514	山口	萩市	55.85	53.32	58.01	55.34
	1716	大分	姫島村	61.67	58.54	64.40	48.81	798	1539	三重	熊野市	56.20	53.90	58.18	48.94
	1717	秋田	上小阿仁村	61.71	58.37	64.77	45.53	799	1541	大分	津久見市	56.21	53.74	58.36	48.84
	1718	和歌山	古座川町	61.86	57.87	65.21	41.65	800	1558	三重	尾鷲市	56.46	54.23	58.37	50.74
	1719	高知	仁淀川町	61.87	58.31	65.12	44.53	801	1573	三重	輪島市	56.79	53.48	59.79	51.25
	1720	徳島	上勝町	61.97	59.52	64.16	53.80	802	1578	秋田	北秋田市	56.89	53.88	59.53	51.61
	1721	長野	栄村	62.00	58.97	64.82	56.61	803	1583	北海道	三笠市	57.10	53.88	59.75	43.23
	1722	奈良	川上村	62.15	59.12	64.94	47.77	804	1608	千葉	南房総市	57.50	55.61	59.20	53.40
	1723	山口	上関町	62.22	58.86	65.12	47.81	805	1614	徳島	三好市	57.59	54.70	60.15	49.42
	1724	青森	今別町	62.30	58.88	65.45	42.82	806	1628	大分	竹田市	57.85	55.06	60.29	57.49
	1725	福島	昭和村	62.67	59.60	65.73	48.64	807	1641	秋田	男鹿市	58.12	55.61	60.36	49.39
	1726	奈良	東吉野村	62.91	60.39	65.12	48.14	808	1643	北海道	芦別市	58.29	55.47	60.68	46.96
	1727	高知	大豊町	63.79	61.07	66.26	55.11	809	1650	静岡	熱海市	58.57	56.24	60.48	49.46
	1728	福島	飯舘村	64.36	62.30	66.44	44.21	810	1659	北海道	赤平市	58.85	56.16	61.07	45.23
	1729	福島	金山町	64.57	61.37	67.62	43.28	811	1676	高知	土佐清水市	59.44	57.09	61.53	45.27
	1730	長野	天龍村	64.58	61.13	67.68	43.59	812	1681	高知	室戸市	59.72	57.28	61.98	44.74
	1731	群馬	神流町	65.15	62.29	67.81	39.47	813	1685	石川	珠洲市	59.80	57.21	61.99	49.77
	1732	奈良	御杖村	65.36	62.27	68.09	45.29	814	1705	北海道	夕張市	60.71	57.96	63.06	45.49
	1733	群馬	南牧村	68.22	65.60	70.56	40.20	815	1710	北海道	歌志内市	61.11	57.84	63.98	40.44

以上のように、日本全体に平均年齢が上昇傾向にある中でも地域によって大きな幅があり、特に大都市近郊部などでは平均年齢が相対的に低く、就業率に代表される活力にも影響していることが見て取れますが、今、「若さ」が目立つところでも、人口急増を伴うような場合は、東京や大阪近郊で高度成長期に開発されたニュータウンがそうであるように、何十年か後には一斉に高齢化して活力が減退する可能性があることを念頭に入れる必要もありそうです。

また、平均年齢が低い市町では、若い人口の呼び込みに様々な工夫をしているところも多く、保育環境の充実などにより子育て世代を積極的に誘致して話題になっている千葉県流山市をはじめ、政策努力の結果という側面もあります。平均年齢が高いところでも、それらの施策を参考とすることで高齢化の進行を抑制する手がかりが得られるかもしれません。

「平均年齢」（若い順）上位の市区町村マップ（令和2年国勢調査）

※全市区町村の1～20位を赤で表示しています（数値は順位）。

※「市及び東京特別区」に絞った上位20位までのうち上記全国上位20に含まれるもの以外を青で表示しています（数値は全国順位）。

